

平成30年第2回白石町議会定例会会議録

会議月日 平成30年6月13日（第8日目）
場 所 白石町役場議場
開 会 午前9時30分

1. 出席議員は次のとおりである。

1番	友田香将雄	9番	吉岡英允
2番	重富邦夫	10番	片渕彰
3番	中村秀子	11番	草場祥則
4番	定松弘介	12番	井崎好信
5番	川崎一平	13番	内野さよ子
6番	前田弘次郎	14番	西山清則
7番	溝口誠	15番	溝上良夫
8番	大串武次	16番	片渕栄二郎

2. 欠席議員は次のとおりである。

なし

3. 地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者は次のとおりである。

町長	田島健一	副町長	百武和義
教育長	北村喜久次	総務課長	松尾裕哉
企画財政課長	井崎直樹	税務課長	木下信博
住民課長	門田和昭	保健福祉課長	大串靖弘
長寿社会課長	矢川又弘	生活環境課長	小池武敏
水道課長	中村政文	下水道課長	片渕徹
農業振興課長	堤正久	産業創生課長	久原浩文
農村整備課長	笠原政浩	建設課長	喜多忠則
会計管理者	西山里美	学校教育課長	吉岡正博
生涯学習課長	千布一夫	農業委員会事務局長	久原雅紀
白石創生推進専門監	坂本博樹	主任指導主事	石橋佳樹

4. 議会事務のため出席した事務局職員は次のとおりである。

議会事務局長	小柳八束
議事係長	中原賢一
議事係書記	緒方千鶴子

5. 会議録署名議員の指名 会議録署名議員に次の2人を指名した。

8番	大串武次	9番	吉岡英允
----	------	----	------

6. 本日の議事日程は次のとおりである。

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 議案第32号 平成30年度白石町一般会計補正予算（第1号）

日程第3 議案第33号 平成30年度白石町農業集落排水特別会計補正予算（第1号）

日程第4 常任委員会の閉会中における所管事務調査

9時30分 開議

○片渕栄二郎議長

おはようございます。

これより本日の会議を開きます。

暑い方は上着をおとりください。

日程第1

○片渕栄二郎議長

日程第1、会議録署名議員の指名をします。

会議規則第119条の規定により、本日の会議録署名議員として、大串武次議員、吉岡英允議員の兩名を指名します。

日程第2

○片渕栄二郎議長

日程第2、議案第32号「平成30年度白石町一般会計補正予算（第1号）」を議題とします。

質疑に入ります。

歳入関係と歳出関係を分けて質疑を行います。

質疑の際は、予算書の何ページ、予算説明資料の何ページとはっきりお示しください。

まず、歳入関係で予算書の1ページから8ページまで、ただし3ページと6ページを除く分について質疑ありませんか。

○西山清則議員

すみません。7ページですけれども、産地パワーアップ事業補助金が減額になってますけれども、一応今年度はもう終了したかなあとおもいますけれども、この減額になった理由をお願いしたいと思います。

○堤 正久農業振興課長

7ページの産地パワーアップ事業補助金、減額の34万3,000円、どうして減額になったのかという御質問でございます。

提案理由の中の説明の中で企画財政課長が御報告いたしたと思いますけども、産地パワーアップ事業と下の玉葱べと病緊急対策事業費補助金、同一の機種等で、上の産地パワーアップが国庫事業として対象事業費が50万円以上のもの、下の玉葱べと病緊急対策事業費補助金が50万円以下の機械ということで、今回トラクターのアタッチですけども、サブソイラーの爪が3本の機種を産地パワーアップのほうで定価六十数万円ですけども、要望されておりました。現地のほうでデモを行うということで、こちらのほうに3本爪のサブソイラーがなかったということで、メーカーのほうで2本爪のサブソイラーをデモとして使用したということで、その組合の方たちが、2本の爪でも十分自分たちの意に介するものであるということで、2本爪のサブソイラーを希望されたということで、産地パワーアップ事業の減額をして、玉葱べと病緊急対策補助金のほうに組み替えを行うということでございます。

以上でございます。

○片渕栄二郎議長

ほかに質疑ありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

ないようですので、次に、歳出関係で予算書の3ページと6ページ、それと9ページから14ページまで及び予算説明資料について質疑ありませんか。

○井崎好信議員

説明資料の1ページでお願いしたいと思います。

消防施設の整備費でございます。今回、白石第2分団第3部の格納庫の新築工事だろうというふうに思います。築40年というふうなことで、非常に古い建物じゃなかったかというふうに思います。そしてまた、手狭であったというふうなことから、6平米程度増しての建築だろうと思います。大体白石の消防団は軽車両が多くあるわけですが、ここの支部は軽車両から普通車にかわるから広くなされるのか、あるいは現状のまま軽自動車での対応なのか。それと、今後軽車両を普通車両にというふうな計画があらわれるのかということですね。

それと、消防団、特にこの白石地域は支部が多いといえますか、団員数が少ない支部が多くあるというふうに私、認識をしてるわけですが、今後そういった支部、行財政改革プランでも盛り込んであったわけですが、やっぱりそういう消防支部の統廃合も今後は財政改革の意味からもしていかなければならないという思いを持ってらるわけですが、こういった団員が少ない支部が多いと、それなりに格納庫も新築をしなきゃいけない、また消防車もそれに準じた導入もしていかなければならないと、そういう面が出てくるわけですが、

団員数は絶対確保をして、現状維持以上でも確保しながら、そういった統廃合の改革もすべきじゃなかろうかなあと、思います。こういった格納庫の新築なり、あるいは消防車を導入する、更新をする時期に、そういったことも検討される時期に来てるんじゃないかなあというふうに思いますけれども、そういったことを今後どういうふうにお考えなのか、その辺をお聞きしたいと思います。

○松尾裕哉総務課長

まず、今回白石第2分団第3部、江越にございます格納庫の改築に伴いまして、今軽自動車でございますが、これを普通自動車にという計画は今のところはございません。

それから、全体的な町の計画といたしましても、今全体で消防車両46ございます。それで、普通車が36台、軽自動車が10台でございますが、今のところ町の計画といたしましては、今の消防ポンプ、軽自動車を普通自動車のほうにかえるというような計画は現在のところはいたしておりません。

それから、団員減少に伴います統合関係でございますが、平成27年度に有明分団の第3分団第5部と6部、いわゆる牛間田と百貫でございますけど、27年に統合がなされております。これにつきましても、一応地元から団員が少なくなったので統合をということが考えられて町のほうに申し出があったというようなことで、今後もそういうふうな、確かに団員が減少している部がございます。それで、そういう申し出が地域からあった場合は町としてもそこに積極的に御相談させていただいて、検討させていただきたいというふうに考えております。

以上です。

○片渕栄二郎議長

ほかに質疑ありませんか。

○吉岡英允議員

予算書の9ページでございます。

説明資料で申しますと2ページです。コミュニティ助成事業のことでお尋ねをしたいと思います。

これ、説明会の折に、7集会所に11台のエアコンを助成するというふうな説明を受けましたけども、そこでお尋ねするのは、その集会所に既存のエアコンはついていて新たに11台つけるのか、ついとって増設でまたつけられるのか、その辺の説明をお願いしたいと思います。

○坂本博樹白石創生推進専門監

今回新明区にエアコン11台の整備の補正でございます。

既存の更新と新規両方あるというふうに聞いております。

以上でございます。

○吉岡英允議員

そしたら、集会所も大小いろいろさまざまあると思いますけども、その辺、割合的にわかりますか。

○坂本博樹白石創生推進専門監

今回のエアコンの更新につきましては全て同じ種類のエアコンでございまして、その機種につきましては大体14畳、1台当たり14畳の容量といたしますか、カバーできるエアコンをそれぞれ7施設、1台から多いところで3台を集会所に設置ということでございます。

以上でございます。

○片渕栄二郎議長

ほかに。

○溝上良夫議員

予算書14ページ、説明資料の4ページですね。

補正予算、事業の内容ですけれども、給食センターの調理室と洗浄室との間に網戸サッシ、給食センターの消毒、手洗い。今までどうやって対処されてたのか、まずお伺いをいたします。

○吉岡正博学校教育課長

まず、網戸サッシですけれども、これを設置するのは給食センターの調理室とコンテナ室の間でございます。現在はその間に間仕切りがございません。それで、コンテナ室というのは、コンテナを排出しますときにはそこが開放状態になります。虫がそこに入ることは考えられるわけですけれども、その結果、虫がコンテナ室に入りましたら、さらにそこから調理室に移動する可能性がありますので、今回その可能性を低減するために調理室とコンテナ室の間に間仕切りを設けるということで、網戸サッシを取りつけるものでございます。

続きまして、手洗い器具の改修の件でございます。これは、現在給食センターのほうの器具は通常というかトイレの前につけてる小さな状態のことで、こういう洗いをしてからこうするわけなんですけれども、福富中学校のほうが今回給食調理所を廃止するというので解体することになりましたけれども、福富中学校の手洗い器具は深い槽でして、非常にここが肘まで手洗い器の中に入れて洗いがしやすいという器具でございましたので、それを撤去して給食センターのほうに移設するというのでございます。福富中学校のほうで2基それがあつたわけなんですけれども、給食センターは調理員の数が全然多ございますので、今現在浅いものが3基ございます。それで、2基を移設して1基は購入をして新設する予定でございます。

以上です。

○溝上良夫議員

私が聞きたいのは、何で補正予算なのかなんですよ。当初予算で当然上げるべき、こんな大事なことをですね。先日も異物混入がありました。異物混入の対処も大事です。これ、本当に外からのばい菌を持ち込まないための消毒室ですよ。簡単な手洗い場で今まで済ませてたのがまずおかしいと思います。そういうところで、課長、答弁難しいでしょうけれども、予算審議のとき、どういった理由ではねたのか、お伺い

たします。

○吉岡正博学校教育課長

すみません。私のほうから答弁をさせていただきます。

この2件につきましては、当初予算に計上をしていてできなかったというわけではございません。

まず、網戸のほうなんですけれども、4月にショウジョウバエのような羽のついた小さな虫が食缶についてるのがわかりました。それで、いろいろ調べたんですけれども、どこから入ってきた、経路とか、それからそのタイミングというのはわからなかったんですが、その点検の中で、先ほど申しあげましたコンテナ室と調理室の間に仕切りがないという先ほどの状況でございますので、この可能性もあるということで、今回急ぎ補正でお願いをしてる点でございます。

それから、先ほどの手洗い器の件は、福富中学校の給食室を廃止するに当たりまして、いろんな器具を、使えるものは使いたいということで、いろいろほかの食器関係もいろいろ転用を考えております。その中の一つとして、さっきの手洗い器が再利用が可能だと、それから転用したほうが安くつくということがありまして、補正予算の中で転用させていただきたいということでございます。

○溝上良夫議員

当初予算で上げてなかったんですか、こんな大事なことを。

洗浄室ですけども、福富で余ったやつが出なかったら、やらなかったわけですか。そこら辺なんですよ。どういうふうに思ってるのか。たまたま福富から出たからつけましようとしか聞こえません。そういうことでいいのかどうかですね。町長含め答弁をお願いいたします。

○吉岡正博学校教育課長

手洗い器の件につきましては、現在の浅いシンクで手洗いができないわけではございませんで、ただ手を洗った後、肘を出して洗うということで、洗うことはできます。ただ、洗いにくいというよりも今度の深い槽のほうが洗いやすいということでございますので、そちらのほうをもったいないので転用したいということでございます。

○田島健一町長

溝上議員から、当初じゃなくて、なぜ補正かということについてでございますけれども、先ほどから、課長も答弁いたしてありますように、まず1つ目のサッシの件については、ずっとこれまでにハエが入ってきてると、虫が入ってきてるといのは確認はできてなかったみたいですけども、たまたま4月にそういうのがあって、今の時勢では虫が一匹でも入らないようにすべきだろうということで、急遽来年の当初ということじゃなくて、タイムリーにということでやらせていただいたところでございます。

また、手洗いについても、先ほど答弁いたしておりますように、今までのやつが全くだめだと、今の施設がだめだということじゃないんですけれども、たまたま福富が

撤去するというごさいますので。そういうことで、それを流用させていただくということで、補正で計上させていただいてるところでございす。御理解をよろしくお願ひしたいと思ひます。

○前田弘次郎議員

予算説明資料1ページ、消防施設費ですけど、ここは、今度昭和55年築ということですけど、今町内に各消防団があると思ひますけど、こういうふうになつた施設がどれくらいあるのか、今後それをどのように計画して新しくされるのかですな。まず、年数がこういうふうになつて消防小屋がどれくらいあるのかと、それを今後どういうふうになつていくかをお願ひします。

○松尾裕哉総務課長

まず、分団ごとに昭和50年代ぐらゐまでの数について答弁をさせていただきます。

白石分団でございすが、これは昭和30年代ごろということしかわかりませんが、30年代ごろが1件、それから昭和40年代ごろが2件、それから昭和50年代が2件ございす。それから、福富分団でございすが、昭和30年代が1件、昭和50年代が4件でございす。有明分団につきましては、昭和50年代が7件ございす。

それで、今後の格納庫の整備計画でございすが、今年度、30年度、先ほど申し上げました白石第2分団第3部、設置地区は江越でございすが、格納庫の建築をさせていただきます。予定です。それで、今後ですが、平成31年度に白石第4分団第3部、これは北明地区の太原下という地区に設置してございすが、これが31年度の計画でございす。

それから、32年度以降の予定といたしまして、白石第3分団第2部、これは須古地区の宮田に設置してございす格納庫でございす。それから、白石第4分団第2部、これは北明地区の西分地区に設置してございすが、この2つの格納庫につきましては、改修予定ということにいたしてございす。

ちなみに、先ほど申しました、白石第3分団第2部の宮田に設置してございす分が昭和40年代ごろということにございす。それから、第4分団第2部の西分に設置してございす分が昭和30年代でございす。それから、第4分団第3部、太原下に設置してございす分が昭和40年代ごろという建築になつてます。

以上でございす。

○前田弘次郎議員

福富の分で、たしか昭和30年の分が1件あるということですけど、そこの改築は考へてないのか、そこはまだ大丈夫なのかということと、今度新しくできたこの格納庫ですけど、空調設備でクーラーはついてるんですかね。お聞きします。

○松尾裕哉総務課長

福富分団第1分団第3部が昭和39年、いわゆる下区の公民館のところに設置してございすが、これにつきましても今地元の方々も古いというようなことで、第1分

団第3部につきましても改築といいますか、建築について検討をされているということで、そういうようなことで話がまとまれば町のほうにも改修について要望が出てくるのではないのかなというふうなことで、今思っている。今のところはまだ町に直接話があつてゐるわけではございませんが、そういう検討をされている状況でということでございます。

また、今回江越の第2分団第3部の格納庫につきましては、クーラーはついておりません。

以上です。

○友田香将雄議員

説明資料の3ページ、農道費のところでは質問です。

今回変形5差路のところを、交通保安上好ましくないということで、1つ閉鎖されるということであるんですが、こちら、もう少し詳しく経路を教えてくださいよろしいですか。

○笠原政浩農村整備課長

有明沿岸道路、それから道の駅、それから県道武雄福富線、ここの道の駅に入るところの交差点部分が警察協議と申しましょうか、公安のほうと協議がなされて、交差点の大きさ、歩道の設置場所等々について協議がなされたところでございます。

その大きな交差点の中に農道が、南部36号線、これが一部接続するというような形になるということなので、非常に危険が生じるというおそれがあると、そういったことで、ここの部分については、閉鎖ということなので公安委員会のほうから意見が出されたということで、今回そのつけかえをして、利用者の利便性を維持するというような目的でつけかえをしたいというふうに考えてます。

以上です。

○友田香将雄議員

そしたら、閉鎖されたということで、十字路になるということだとは思いますが、こちらの中心に信号等は今後つく予定なのでしょうか。

○久原浩文産業創生課長

道の駅の分も関連します。この分の信号機については、実は地元からの要望もあつております。ただ、有明海沿岸道路のほうの福富インターのほうが開通がまだ先という形で、警察等のほうでは、インター開通後状況を見て信号機の設置については検討するといったことですが、白石町としては、昨年度も要望等を地元区長さん初め、の分を出しております。要望のほうについては本年度もやっていきたいというふうに考えております。

以上です。

○西山清則議員

今、同じ箇所ですけども、新規に農道をつくられるということですよ。

それで、前の残ったところは、そのまま町有地になるのか、交換なのか、その辺を伺いたいと思います。

○笠原政浩農村整備課長

封鎖されて、一部どうなのかということの件ですけど、一応歩行者は通行できるということで、農地にも接しておりますので、そのまま農道として管理をしていきたいというふうに考えているところです。

○大串武次議員

説明資料の1ページ、消防設備関係でございますけど、今現在のところがちょうど公民館の前にありますけど、今度の予定を見ておられますと、公園内に移転されることになっております。この公園に移転をしなければいけなかった理由と、それからあそこにはフェンスが張ってありますもんね。入り口のところだけがフェンスがありませんけど、これは、地図上では多分フェンスの取り壊しも必要じゃないかと思っておりますけど、その辺と6平米だけですけど、敷地というか建物がふえているわけですけど、そのふやさなければいけなかった理由というのが、どういうふうな理由で大きくなったのかお尋ねいたします。

○松尾裕哉総務課長

この第2分団第3部の格納庫は、今言われました江越公民館の敷地の前のほうに今現在建っております。それで、地元、いわゆる江越公民館の役職の方々とか、地元の分団長と一緒に移設場所について検討をさせていただきましたけど、実際江越公民館の前の今あるところに建て直すことも可能でしたけど、公民館の前にあるということで、なかなか公民館を使う場合についても今まででも使い勝手が悪いようなところもあったということで、最終的に江越公民館の公園内の施設に建てるということで検討をいたしまして、まず建てる場所につきましても、今建っている格納庫の、公園内のすぐ近くのところはどうだろうかということもございましたけど、やっぱり団員が個人の車を入れる場合に、その場所に建っとったらなかなか車の出入りも不都合があるだろうということで、最終的にこの位置に、話し合いをさせていただいて決定をさせていただいたということでございます。

それで、場所につきましてはここに建ちますので、フェンス等につきましても撤収をしなければなりませんので、フェンス等についての撤収についても地元の了解をいただいて撤収をさせていただくということでございます。

それから、6平米あたり増加をしておりますが、出動に当たるとこの、いわゆる整備とかについてのこともございますが、一応前に、普通車との交換はないかというような御質問がございましたけど、今のところは町自体はございませんが、総務省の推奨している消防車両については、大体6人乗りを推奨されているということでございまして、今現在町としては計画はございませんが、そのような普通車を入れる、6人乗りの普通車ということで、最終的にそういうようなことを入れなさいというような

ことになったときにも対応できるようにということで、少し普通車が入るような規模の格納庫を建てさせていただくということにいたしております。

以上でございます。

○中村秀子議員

予算書の12ページ及び13ページですが、小学校費の中で、補正で司書補賃金が補正で上がっていますが、当初予算ではなくて補正で上げるというのは、どういうふうな、当初予算ではなかったということじゃないかなと思うんですけども、そこら辺の経緯と、13ページのほうの中学校費のほうですが、保健体育施設費とありますが、110万円の補正がついていますが、ここの修繕に係る詳細について、どこをどのようにというふうなことでお知らせください。

○吉岡正博学校教育課長

私のほうから、まず12ページの司書賃金について御説明を申し上げます。

これにつきましては、4月の人事異動で学校配置の正職の司書1人が減員となりました。それで、日々雇用の司書を1人雇用するということになりまして、お願いをしてる分でございます。ちょうど人事異動の前に当初予算ができておりますので、その時期的ずれではございます。

○千布一夫生涯学習課長

私のほうからは、13ページに体育施設費の110万円の増額補正の分について御説明いたします。

110万円の内訳ですが、いずれも白石社会体育館の分でございます。110万円の内訳ですが、1つが、社会体育館の自動火災警報装置の受信機の取りかえの分が77万円でございます。年2回毎年消防設備の法定の点検を行っております。7月と3月に行っておりますが、ことし3月の法定点検の際に受信機の不良が指摘をされましたので、受信機の本体を交換するものでございます。

それともう一つ、残り33万円ございますが、1つが体育館内の放送設備、アンプとワイヤレスマイクですが、これも導入から既に20年を経過しておりまして、経年劣化でたびたび不具合が出ておりましたので、その更新をするものでございます。それが30万円との最終的な残りがその他修繕費ということで3万円、合わせて110万円の修繕費をお願いいたしております。

以上です。

○片渕栄二郎議長

ほかに質疑ありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

これで質疑を終わります。

討論ありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

討論なしと認めます。

これより議案第32号「平成30年度白石町一般会計補正予算（第1号）」について採決します。

本案に賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

起立全員です。よって、議案第32号は原案のとおり可決されました。

日程第3

○片渕栄二郎議長

日程第3、議案第33号「平成30年度白石町農業集落排水特別会計補正予算（第1号）」を議題とします。

質疑ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

質疑なしと認めます。

討論ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

討論なしと認めます。

これより議案第33号「平成30年度白石町農業集落排水特別会計補正予算（第1号）」について採決します。

本案に賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

起立全員です。よって、議案第33号は原案のとおり可決されました。

日程第4

○片渕栄二郎議長

日程第4、常任委員会の閉会中における所管事務調査を議題とします。

会議規則第72条の規定により、お手元に配付しているとおりの各委員長から閉会中の継続調査について申し出が 있습니다。

本件について各委員長から報告を願います。

○内野さよ子総務常任委員長

おはようございます。

閉会中の継続調査申出書。

本委員会は、所管事務のうち下記の事件について閉会中の継続調査を要するものと決定をいたしましたので、ここに申し出ます。

総務常任委員会の議会閉会中の所管事務調査としまして、市町村合併後のまちづくりの検証についての調査を実施したいと思っています。

具体的には、平成の合併から10年以上が経過をしましたが、合併による検証結果に基づいたその効果と浮かび上がってきた課題について、福岡県筑前町を視察することとしています。

当筑前町は、合併された10年後に合併効果の検証を繊細に報告書にまとめ上げられております。筑前町は本町と同規模の町であり、行財政運営における効率化、合併特例債の活用、合併当初想定していなかった課題などについて講義を受け、その対策についても聞き取りを行う予定でいます。

なお、総務常任委員会では、9月議会において合併後のまちづくりの検証についてということで代表質問の予定をしているところです。

今回の視察で、調査した内容については持ち帰り、委員会でまとめ上げながら町民との約束事であった新町まちづくり計画の結果についての代表質問へとつなげていきたいと考えています。

調査の期間としまして、次期議会定例会開会の前日までということで、7月下旬を予定していますので、よろしく願いいたします。

○草場祥則文教厚生常任委員長

おはようございます。

閉会中の継続審査の申し出を行います。文教厚生常任委員会の議会閉会中の所管事務調査といたしまして、武雄市こども図書館の現地視察を実施したく申し出ます。

具体的には、こども図書館の3つのコンセプト、子育て世代や子供の目線に立った施設設計の概要について説明を受けながら現地調査を行うものであります。こども図書館は、主役は子供たちとする、学び、遊び、育つをコンセプトとして子育て応援機能と他世代が交流できる機能をあわせ持った設計がなされ、昨年からは運営がなされております。また、2万冊もの子供向けの蔵書を備えられ、若者世代に人気があるパンケーキ店も誘致され、連日市民の憩いの場としてにぎわっているようでございます。子育て世代の定住施策を各自治体が力を入れている中において、この町で子供を育てたいとだけ思っただけのようなまちづくりのために、子育て世代の目線に立った施策のあり方について学んでこようと思っております。

なお、文教厚生常任委員会では、これらの政策提言につなげていきたいと考えておるところでございます。

調査期間といたしましては、次期議会定例会開会の前日まで、7月上旬を予定しております。

以上のとおり、文教厚生常任委員会を代表して申し出ます。よろしく願いします。

○井崎好信産業建設常任委員長

おはようございます。

閉会中の継続調査を申し出ます。

産業建設常任委員会の議会閉会中の所管事務調査といたしまして、佐賀県農業協同組合JAさが白石地区との農業情勢等に関する意見交換を実施したく申し出ます。

具体的には、近年は米の生産調整など農業を取り巻く状況が大きく変化をしており、農家が安心して投資し経営に取り組めるような方策などについて、JAさが白石地区の幹部と意見交換を実施したいと考えております。

なお、JAさが白石地区管内では、支所の再編も計画がされているところです。再

編についての考え方を聞きながら、各農家へ及ぼす影響と対策について幹部の方々と議論を深めたいと考えているところでございます。

また、今年度はイチゴのトレーニングファームの整備をJAが主体となって取り組まれていることとなっております。このトレーニングファームの概要と運営方針、研修生のサポート体制などについて説明を受けることといたします。

これらの担い手育成システムのモデルとなれるよう期待をしているところでありますので、町の支援のあり方について産業建設常任委員会では議論を深めていきたいと考えております。

この意見交換につきましては、前回の所管事務調査として行う予定でございましたけれども、日程の調整がつかずに実施できませんでしたので、改めて今回計画をしたところでございます。

調査の期間といたしましては、次期議会定例会の前日までということで、7月の下旬を予定しております。

以上、産業建設常任委員会を代表いたしまして申し出ます。よろしくお願いいたします。

○片渕栄二郎議長

お諮りします。

各委員長からの申し出を閉会中における所管事務調査とすることに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

異議なしと認めます。よって、各委員長からの申し出を閉会中における所管事務調査とすることに決定しました。

以上で本定例会に付された案件は全て終了しました。

会議を閉じます前に町長から挨拶があります。

○田島健一町長

平成30年6月定例議会の閉会に当たりまして一言御挨拶を申し上げます。

議員の皆様方に今回提案いたしました議案は、平成30年度白石町一般会計補正予算など8件でありましたが、十分に御審議をいただきまして、原案どおり可決いただきましたこと、まずもってありがたく、厚くお礼を申し上げます。

しかしながら、各議案の審査の中において、多くの意見をいただいたものがございました。また、一般質問におきましても、いろいろと御意見を賜ったところでございます。いただきました御意見は、今後の町政執行にしっかりと反映させていく所存でございます。今後とも御指導、御協力を賜りますようお願いを申し上げます。

次に、気象のことについてでございます。ことしの梅雨入りは先月の28日でありまして、平年より8日早く、昨年と比べますと23日も早かったところでございます。

なお、梅雨入り後は適度な降雨があっておりまして、町内各地で田植えの準備も進んでいるようでございます。

昨年の今ごろの嘉瀬川ダムの貯水率は約77%でありましたが、ことしは98%が確保

されている状況でございます。昨年はこの77%がどんどん低下いたしまして、かんがい期後半であります9月の後半には23%まで低下をいたしました。そこで取水制限、渇水調整が行われましたが、本町にとりましては事なきを得たところでございます。

ことは、先ほど申し上げましたように、約98%は確保されているとは申せ、降雨がないという異常気象も想定されますので、常に貯水状況を注視し、水道用水、農業用水の有効利用に努めていくことが必要かというふうに思われます。

議会とは直接関係ないような話までいたしましたけども、今議会におきまして、全ての議案、原案どおり可決いただきましたことに対するお礼とさせていただきます。どうもありがとうございました。

○片渕栄二郎議長

これをもちまして平成30年第2回白石町議会6月定例会を閉会します。

10時20分 閉会

上記、会議の経過を記載し、その相違ないことを証するため、地方自治法第123条第2項の規定によりここに署名する。

平成30年6月13日

白石町議会議長 片渕 栄二郎

署名議員 大串 武次

署名議員 吉岡 英充

事務局長 小柳 八束